

ELECOM

パワーポイント専用 レーザーポインタ付ワイヤレスリモコン RC-LUWPP ユーザーズマニュアル

この度は、エレコムのワイヤレスリモコン“RC-LUWPP”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。“RC-LUWPP”はMicrosoft® PowerPointのスライドショーをワイヤレスで操作できるリモコンで、レーザーポインタ機能も付いています。このマニュアルでは“RC-LUWPP”の操作方法と、“RC-LUWPP”を安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて“RC-LUWPP”を「本製品」と表記しています。また、このマニュアルは大切に保管しておいてください。

本製品は以下の条件で使用できます。

対応機種	IBM PC/AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズで USB ポートを標準で装備した機種
対応 OS	Windows® XP / Me / 2000 / 98
対応ソフト	Microsoft® PowerPoint 2000 以降

※ 本製品は“微弱電波機器”ですので総務大臣の無線局許可は必要ありません。電波法に準拠しています。

※ 本製品は弊社製ワイヤレスマウス“M-PGDUR シリーズ”と異なる ID を使用することで併用することができます。ただし、近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社エレクトロニクス総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- リモコン本体 1個
- レシーバユニット 1個
- 単3形アルカリ電池(動作確認用) 2本
- 延長ケーブル(1.5m) 1本
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1枚

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

■ 絵表示の意味

-  ①記号は「してはいけない」ことを示します。
-  ●記号は「しなければならない」ことを示します。

警告

 本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いがしているなどの異常があるときは、直ちに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンからはずしてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

 リモコン本体にあるレーザーポインタ発光部をのぞきこんだり、人に向けてたりしないでください。目を痛める恐れがあります。本製品をお子さまがご使用にならないよう注意してください。



 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちにレシーバユニットをパソコンからはずし、ご購入店などにご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。

 本製品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

 本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちにレシーバユニットをパソコンからはずしてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

 レシーバユニットをぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

注意

 本製品は次のようなところには置かないでください。
・日のある自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
・多湿なところ、結露をおこすところ
・平坦でないところ、振動が発生するところ
・マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
・ほこりの多いところ

 レシーバユニットをパソコンに取り付けるときは、コネクタの向きを間違えないように慎重に作業してください。強引な脱着は故障やけがの原因になります。

 パソコンとの接続に延長ケーブルをご使用になる場合は、必ず付属のケーブルを使用してください。

 本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

 電池は新しいものと古いものを混ぜて使わないでください。充電したり、分解したりしないでください。プラスとマイナスの向きを正しく入れてください。また、本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

本製品を使用する場合の注意事項

● 本製品は周波数が314MHz帯の微弱電波を使用しています。まれに外部からこの周波数と同じ電波を受けた場合、誤動作することがあります。重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。

● 微弱電波を使用していますが、電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがありますので、航空機内や病院など使用を禁止されている場所ではご使用にならないでください。

● 本製品の近くで携帯電話を使用される場合、電波の影響を受けて動作が不安定になることがありますので、影響を受けない距離を保ってください。

● USBケーブルをレシーバユニットに巻き付けた状態で使用しないでください。受信性能が低下することがあります。

お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると変質や変色をおこすことがあります。

保証規定

- お客様の正常な使用状態で万一故障した場合は、本保証書規定に従い無償修理致します。
- 保証期間中でも以下に該当する場合は、有償修理となります。
 - (イ) 保証書のご提示がない場合。
 - (ロ) 保証書の所定事項の未記入、あるいは印字を訂正された場合。
 - (ハ) お買い上げ後の輸送、移動時の落下などにより生じた故障・損傷または損失の場合。
 - (ニ) 火災・天災・異常電圧などに起因する故障・損傷の場合。
 - (ホ) 過剰な使用による故障・損傷。
 - (ヘ) 使用方法の誤り、当社以外での修理・調整・改造された場合。
 - (ト) 接続している他の機器の不具合により本製品に故障を生じた場合。
 - (チ) 直接メーカーへ送付した場合の送料などはお客様の負担となります。
- 保証内容は本体(ハードウェア)及び添付品修理のみと致します。データの損失に関しては、その原因がハードウェアの故障に起因する、しないに関わらず保証いたしかねます。また、ハードウェアあるいはソフトウェアのトラブルによって発生した損失につきまでも同様に保証いたしかねますのでご了承下さい。
- 保証書の有効期限は、ご購入の販売店によって保証書表面に記入いただいた購入年月日起源といたします。保証書に販売店の店印ならびに購入年月日の記載がない場合は、保証対象外となります。
- 保証書は、再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
- 保証書は、日本国内で使用される場合に限り有効です。

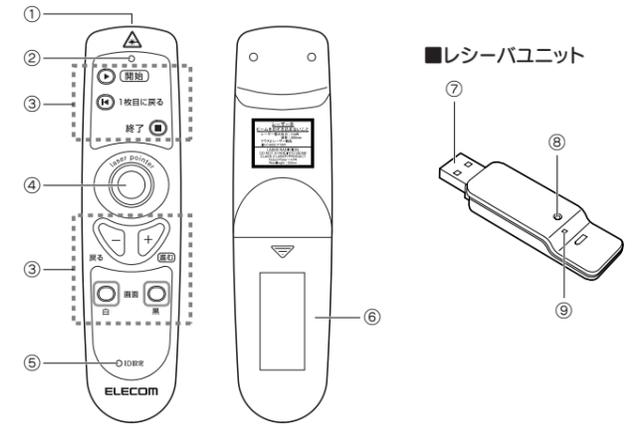
ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめの上大切に保管してください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使いかたがわからないときは、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

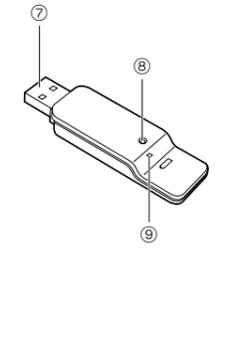
商品に関するお問い合わせは	●エレコム総合インフォメーションセンター	受付時間 9:00~12:00 13:00~18:00	年中無休
---------------	----------------------	-----------------------------------	------

各部の名称とはたらき

■ リモコン本体



■ レシーバユニット



① レーザーポインタ発光部	この部分から赤色のレーザーポインタが照射されます。
② レーザー照射ランプ	レーザーポインタが発光しているときは、このランプが点灯します。点灯中の本製品の扱いには十分に注意してください。
③ PowerPoint操作ボタン	PowerPointのスライドショーを操作するためのボタンです。各ボタンの説明については「PowerPointで使う」をお読みください。
④ laser pointerボタン	このボタンを押すと、レーザーポインタを照射します。
⑤ ID設定ボタン	他のワイヤレス機器との混信を避けるためID設定を変更するときに使います。
⑥ 電池カバー	このカバーを開けて電池を入れます。
⑦ USBコネクタ	パソコンのUSBポートに接続します。
⑧ ID設定ボタン	他のワイヤレス機器との混信を避けるためID設定を変更するときに使います。
⑨ 動作ランプ	レシーバユニット内部にあるランプです。乾電池が消耗しているとき、リモコン本体の操作ボタンを押すと点灯します。ID設定を変更するとき点灯および点滅します。

■ 基本仕様

製品名	パワーポイント専用レーザーポインタ付ワイヤレスリモコン
製品型番	RC-LUWPP
インターフェイス	USB
使用周波数	314MHz帯
対応機種	IBM PC/AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズで USB ポートを標準で装備した機種
対応 OS	Windows® XP / Me / 2000 / 98
対応ソフト	Microsoft® PowerPoint 2000 以降
電源	DC3V 単3形マンガン乾電池または単3形アルカリ乾電池 2本※
動作温度 / 湿度	0℃～40℃ / 10%～85%RH
保存温度 / 湿度	-20℃～+60℃ / 10%～85%RH
形状寸法 / 本体重量	W40 × D160 × H33.2mm / 約 85.6g (乾電池含まず)
梱包内容	リモコン本体、レシーバユニット、単3形アルカリ乾電池(動作確認用)、延長ケーブル(1.5m)、マニュアル

※ 単3形アルカリ乾電池を使用した場合、1日8時間レーザーポインタとPowerPointの操作をそれぞれ50%ずつ行うと、レーザーポインタは約18日間、PowerPointの操作は約31日間使用できます。

電池を入れる / 交換する

本製品をはじめて使用するときにはリモコン本体に単3形マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を2本入れます。また、レシーバユニットの動作ランプが点灯した場合は以下の手順を参考に電池を交換してください。なお、本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で長い時間が経過し乾電池が消耗していることがありますので、動作が不安定な場合は新しい乾電池に交換してください。

● 使用できる乾電池について

本製品で使用できる乾電池は、市販されている単3形マンガン乾電池または単3形アルカリ乾電池です。充電には対応しておりません。新しい単3形アルカリ乾電池を使用した場合、レーザーポインタのみの連続操作には約110時間、PowerPointのみの連続操作には約350時間使用できます。また、1日8時間レーザーポインタとPowerPointの操作をそれぞれ50%ずつ行うと、レーザーポインタは約18日間、PowerPointの操作は約31日間使用できます。

● 電池交換の時期

電池が消耗するとリモコン本体の操作ボタン(laser pointer ボタンを除く)を押したときに、レシーバユニットの動作ランプが点灯します。早めに乾電池を交換するようにしてください。

① 電池カバーを開けます。



② 乾電池を入れます。交換する場合は先に古い乾電池を取り出します。



③ 電池カバーを閉めます。



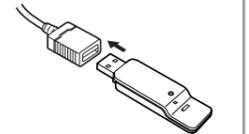
レシーバユニットの取り付け / 取り外し

レシーバユニットをパソコンに取り付けます。はじめて取り付けるときは、必ず以下の手順に従ってください。2回目以降はパソコンの電源を入れたままでも抜き差しできます。

■ 取り付ける場合

Tips 延長ケーブルについて

レシーバユニットの位置によってはリモコン本体から電波を受信できなかったり、動作が不安定になることがあります。このような場合は付属の延長ケーブル(1.5m)をお使いください。



① はじめてレシーバユニットを取り付ける場合は、パソコンの電源を切っておきます。

・2回目以降はパソコンの電源を入れた状態で差し込んでかまいません。

② レシーバユニットのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込みます。



③ はじめてレシーバユニットを取り付けた場合は、次の「レシーバユニットをセットアップする」をお読みください。

■ 取り外す場合

レシーバユニットはホットプラグに対応していますので、Windows®が起動した状態でも取り外すことができます。

※ Windows®の起動中に何度も着脱をくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合はWindows®を再起動してください。

レシーバユニットをセットアップする

はじめてレシーバユニットをパソコンなどのUSBポートに取り付けた後、Windows®を起動すると、自動的にレシーバユニットのセットアップが始まります。ご使用のOSに合わせて説明をお読みください。

Windows® XP/Me/2000 の場合

①パソコンの電源を入れて、Windows®を起動します。

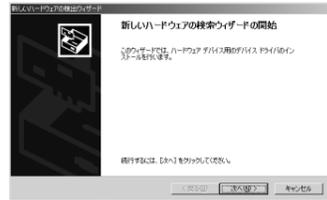
注意

- Windows® XP の場合、複数のアカウントを登録しているときは、コンピュータの管理者としてログオンします。
- Windows® 2000 の場合は Administrator 権限でログオンします。

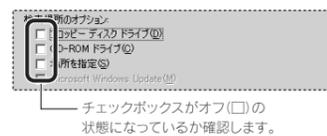
②本製品が認識されます。画面にメッセージが数秒間表示され、自動的にセットアップが完了します。

■Windows® 2000 でウィザード画面が表示された場合

Windows® 2000 ではご使用の環境によってウィザード画面が表示される場合があります。このような場合は画面のメッセージに従って作業を進めてください。



●途中、(ドライバファイルの特定)画面が表示された場合は [検索場所のオプション] のチェックをすべてオフにして、次へ進んでください。



●途中、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されます。[USB ヒューマン インターフェイス デバイス]および[HID キーボードデバイス]のいずれのドライバも正常に動作することを弊社で確認しておりますので、[はい] ボタンをクリックして次へ進んでください。

Windows® 98/98SE の場合

セットアップ中に「Windows® 98 オペレーティングシステム」のCD-ROMが必要な場合がありますので、あらかじめCD-ROMをご用意ください。

●Windows® 98 プリインストールモデルのコンピュータをご使用の場合
コンピュータに添付されている「Windows® 98 CD-ROM」または「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。ディスクが添付されていない場合は、CD-ROMを指定する代わりに「C:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。なお、プリインストールモデルの場合は、ドライバが自動的にインストールされることもあります。

●Windows® 98 のパッケージをご購入されている場合
パッケージに入っている「Windows® 98 CD-ROM」をご用意ください。

①コンピュータの電源を入れて、Windows®を起動します。

②新しいハードウェアの追加ウィザードの画面が表示されます。**次へ** ボタンをクリックします。



③「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。**次へ** ボタンをクリックします。



④すべてのチェックボックスをオフにします。**次へ** ボタンをクリックします。

チェックボックスがオフ(□)の状態になっているか確認します。



⑦検索するドライバファイルとして「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」が表示されていることを確認します。

⑧**次へ** ボタンをクリックします。



⑨Windows® 98 CD-ROM をドライブに入れるようにメッセージが表示された場合は、「Windows® 98 オペレーティングシステム」のCD-ROMをドライブに入れ、**OK** ボタンをクリックします。

※画面例は「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」のもので、「Windows® 98 CD-ROM」と表示される場合もあります。

・Windows® 98 CD-ROMのセットアップ画面が表示された場合は、画面右上の **X** をクリックして画面を閉じてください。

Tips **OK** ボタンをクリックしたあと、(ファイルのコピー)画面が表示された場合

「ファイルのコピー元」にCD-ROMドライブのドライブ名と「WIN98」フォルダを入力するか、**参照** ボタンをクリックし「WIN98」フォルダを選択します。
※プリインストールモデルでWindows®のCD-ROMが添付されていない場合は、CD-ROMの代わりに「c:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。
※コピー先のほうが、CD-ROMのファイルより日付が新しい場合は、そのまま新しい日付のファイルを使用してください。

●ドライブ/フォルダ名を入力する場合の例

①キーボードからCD-ROMを入れたドライブ名と「win98」を入力します。

D:\WIN98 (小文字でも可)

※ドライブ名に続いて「:」と「\」を入力し、さらに「WIN98」を入力します。

②**OK** ボタンをクリックします。



●**参照** ボタンをクリックする場合の例

①(ファイルのコピー)画面で、**参照** ボタンをクリックします。

②[ドライブ]でCD-ROMを入れたドライブを選択し、[フォルダ]で「win98」フォルダを選択します。

③**OK** ボタンをクリックします。

④(ファイルのコピー)画面の**OK** ボタンをクリックします。



⑩ドライバのインストールが完了したら、**完了** ボタンをクリックします。

・Windows® 98 CD-ROMを取り出してください。



注意 **完了** ボタンをクリックしたあと、Windows® 98 CD-ROMを要求されたときは

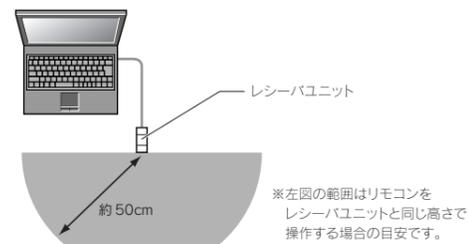
ご使用の環境によっては**完了** ボタンをクリックしたあと、ドライバの更新中にWindows® 98 CD-ROMを要求されることがあります。このような場合は、手順⑨と手順⑩のTipsを参考にしてインストール作業を続けてください。

これでドライバのインストール作業は完了です。

PowerPoint で使う

■リモコンを操作できる範囲

リモコンはレーザーポインタ発光部側をレシーバユニットに向け、下図の の範囲で操作してください。レシーバユニットとの間に障害物があると操作の妨げになります。



■スライドショーを実行する

①Windows®を起動し、Microsoft® PowerPoint®を実行します。

②スライドショーを実行するPowerPointのファイルを開きます。

③リモコン本体の [開始] ボタンを押します。スライドショーが始まります。リモコン本体から操作できる機能については下表をご参照ください。

●スライドショー時の各ボタンの機能

開始	PowerPoint で表示中のファイルのスライドショーを開始します。
1 枚目に戻る	最初のスライドに戻ります。
終了	スライドショーを終了し、PowerPoint の画面に戻ります。
戻る	ひとつ前のスライドに戻ります。最初のスライドでこのボタンを押すとブザーが鳴ります。
進む	次のスライドに進みます。
画面 白	画面を白くします。もう一度押すとスライドショーに戻ります。
画面 黒	画面を黒くします。もう一度押すとスライドショーに戻ります。
laser pointer	レーザーポインタを照射します。「レーザーポインタを使う」をお読みください。

※ ボタンによっては表示モードがスライドショーモード以外(例えば標準モード)でも動作するものがあります。ただし、動作はスライドショーモードとは異なる場合があります。

レーザーポインタを使う

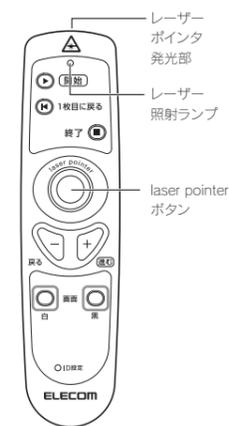
本製品にはレーザーポインタ機能が付いています。スライドショーの説明でポイントとなる場所を示すのに便利です。

●レーザーポインタ発光部をスライドショーの画面に向けて、[laser pointer] ボタンを押したままにします。スライドショーに赤いレーザーポインタが照射されます。

●[laser pointer] ボタンをはなすと、レーザーポインタが消えます。

●レーザーポインタを照射しているときは、「レーザー照射ランプ」が点灯します。点灯中の本製品の扱いには十分に注意してください。

●乾電池が消耗してくるとレーザー光が急激に暗くなります。早めに乾電池を交換するようにしてください。



リモコン本体にあるレーザーポインタ発光部をのぞき込んだり、人に向けたりすることは絶対におやめください。目を傷める原因となります。

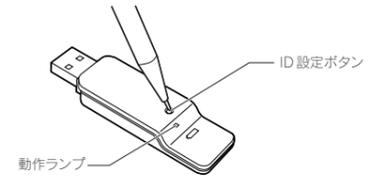


ID の設定を変更する

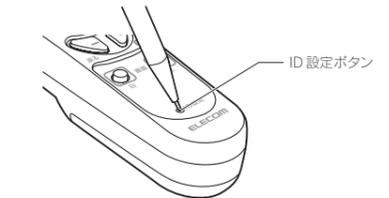
同じ周波数を使うワイヤレスマウスなどを同時に使用すると混信することがあります。このような場合は、本製品のID 設定を変更してください。ただし、近接している周波数を使用するため、動作性能が通常より多少低下することがあります(本製品を操作することで、ワイヤレスマウスが誤動作することはありません)。設定できるID は1024通りです。

①Windows®を起動し、パソコンのUSBポートにレシーバユニットを差し込みます。

②シャープペンシルやゼムクリップなどの先の細いもので、レシーバユニットの「動作ランプ」が赤色に点灯します。



③「動作ランプ」が赤色に点灯している間に、リモコン本体の「ID 設定ボタン」を4秒以上押します。正常に受信されるとレシーバユニット内部の「動作ランプ」が2回以上点滅した後、「動作ランプ」が消えます。



④これでID の設定は完了です。

注意 ID 設定を変更して混信を回避した場合でも近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。

トラブルシューティング

リモコン本体を操作しても、PowerPointのスライドショーが動作しない場合や動作が不安定な場合は以下の点をご確認ください。

- ▶ リモコン本体がレシーバユニットから離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向に向けられている可能性があります。付属の延長ケーブルを使って、レシーバユニットがリモコン本体に近づくように設置してください。
- ▶ レシーバユニットとリモコン本体の間にディスプレイモニターなど電波に干渉する機器があると正しく動作しない場合があります。干渉の恐れがある場合は設置場所を移動するなどしてください。
- ▶ ワイヤレスマウスなどのワイヤレス機器を使用している場合、電波干渉が発生している可能性があります。本製品または他のワイヤレス機器のID 設定を変更してみてください。
- ▶ 誤ってリモコン本体のID 設定ボタンを押してしまったことなどが原因で、レシーバユニットとリモコン本体のID が異なっている可能性があります。「ID の設定を変更する」をお読みになりID の設定を合わせてください。
- ▶ リモコン本体の乾電池が消耗している可能性があります。新しい乾電池に交換してください。交換の方法は「電池を入れる / 交換する」をお読みください。
- ▶ ID 設定を変更しても動作が不安定な場合は、正しく変更されていない可能性があります。レシーバユニットのID 設定ボタンを押した後、10秒以内にリモコン本体のID 設定ボタンを押してください。詳しくは「ID の設定を変更する」をお読みください。
- ▶ ID 設定を変更した後、リモコンが動作しなくなった場合は、ID が正しく変更されていない可能性があります。はじめにレシーバユニットのID 設定ボタンを押し、動作ランプが点灯していることを確認してから、リモコン本体のID 設定ボタンを押してください。詳しくは「ID の設定を変更する」をお読みください。

・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するもの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
・Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

パワーポイント専用レーザーポインタ付ワイヤレスリモコン RC-LUWPP
ユーザーズマニュアル 2004年3月12日 第1版 エレコム株式会社 L1-WU-1
©2004 ELECOM Co.,LTD. All rights reserved.